

北安理科だより No.4

平成29年11月15日(水)
北安曇郡理科教育研究会
文責 小山(高瀬中)
矢口(八坂中)

アサギマダラのマーキング

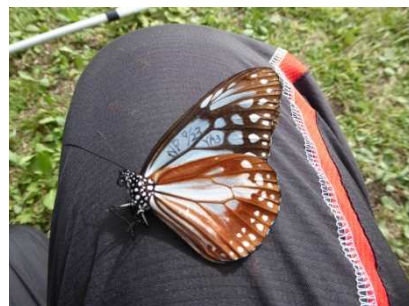
9月23日(土)の午後、アサギマダラのマーキングを行いました。場所は、大町市築場の国道148号線沿いにある、のっぺ山荘の裏にある、10アール程のフジバカマ畑です。この日は、アサギマダラの飛来はあまり多くなかったようですが、多い人で10匹ほどのアサギマダラの羽にマーキングをすることができました。優雅に舞うアサギマダラを追いかけながら、童心に帰った気持ちになり、あっという間に夕方になってしまいました。また、のっぺ山荘の方からアサギマダラの様子についてのお話をお聞きしたり、研究者の方の蝶を集める装置を見せていただいたりと、学びの多い午後のひと時を過ごすことができました。



アサギマダラについてお話しを聞く



捕まえました



羽にマーキングをして放します

湯俣の噴湯丘観察会

10月14日(土)は、毎年恒例の噴湯丘観察会が行われました。今年も担当の先生お陰で、車乗り入れ許可をとってもらい、参加者8人で出発しました。天気は、朝は霧雨でしたが、日頃の行いに自信を持って歩き始めました。昨年壊れそうだった木道が完全に壊れていたり、崩れやえぐれていたりした所がありましたが、全体的には歩きやすく、よく整備された割りとは平坦な道を二時間程歩きました。すると湯俣温泉晴嵐荘に到着しました。天気も回復、紅葉の中気持ちよく歩きました。吊り橋を二本渡し、山の神様に手を合わせてから、靴をはきかえ、ザイルを張って川を渡り、今年も無事に噴湯丘までたどり着くことができました。

昨年から、噴湯丘の横で露天風呂に浸かるのが、一つの目的になっている人がおり、今年もなんとかその目的を達成。最後に、これも恒例の温泉卵に挑戦しました。ところが、お湯が熱すぎて、玉子の回収が難しく、しかも、流れが強くて、半分が流されてしまいました。露天風呂に浸かっている間にかなりいい感じで温泉卵ができ、みんなで味わうことができました。



元気に出発!



橋を渡り



川を渡り



噴湯丘が見えてきました



今年の噴湯丘



恒例になりつつある入浴



そして、恒例の温泉卵

信州理研松本大会に参加しました

11月2日（土）、3日は、信州理研松本大会が菅野小、中学校とホテル翔峰で行われました。北安曇支部からは8名が参加しました。1日目に行われた授業参観では、モーターカーを速く走らせたいと、2この電池のつなぎ方を変えながら、友と比較して追究する小学4年生の授業と、豆電球が直列につながった回路の各部分の電流を細かく読み取ろうとじっと電流計を見つめて追究する中学2年生の授業を見させていただきました。

ポスターセッションでは、美麻小中学校の柳沢先生にまとめていただいた、クマ出没に関するデータを展示しました。また、午後の分散会では、大町北小の長澤先生が、北安曇支部を代表して、実践発表を行いました。ICT機器を活用することで、電池のもちと、電流の強さを同時に追究できた北安曇支部の研究の成果を、全県に発信することができました。

2日目は、プラントハンターの西畠清順さんのトークライブが行われ、植物の世界から、生き方や人との繋がりなど、私たちの周りにあるたくさん大切な見方や考え方を学ばせていただくことができました。今年も、全県の理科の先生方との関わりを深め、学びの多い信州理研の大会になりました。参加してくださった先生方、ありがとうございました。



小4の授業風景



研究会の様子



実践発表



西畠さんのトークライブ

県教研で北安の実践を発表

信州理研の翌週、11月11日（土）、12日（日）は、松本で県教研が行われました。北安曇支部からは理科3名がレポート発表を行いました。共同研究者や高校の先生方から、より専門的な視点からご指導をいただき大変勉強になりました。

今年度は、若い先生方が積極的に学びの場に足を運んでくれることが何よりうれしく思います。これからも若い先生方の探究心に力をもらいながら、日々の実践、研鑽を深めていける北安曇理研でありたいと思います。

今後は、冬の観察会と、3学期に松川中学校での電流の授業研究会が予定されています。日時が決まり次第、係より連絡がいきます。ぜひ、ご都合をつけていただきご参加をお願いします。